



OPCTV

オプション倶楽部TV

【売坊流】 政治経済イベント分析（25年10月）

米国の二極化さらに進行で
利下げは年内一回に？

この配信では皆様の投資やトレードの参考となりそうなイベント、グレイ・リノ、異常値について分析していきます！



OP壳坊

©2019-2025 OP壳坊



2025年9月の日経平均を振り返る

日経225先物25年12月限 4時間足 (2025/06/04~09/30)



出所) 楽天証券『MARKETSPEEDII』

日経平均（現物指数）ではなく日経225ラージ先物12月限を掲載しているのは、**価格帯別出来高分布**で大口参加者の売買動向を分析できるからです。また、三井先物を使わないので、多額の資金量を扱う市場参加者には小さすぎるからです

44000～46000円が主戦場となっています。44000円を割れるような展開となると、大きな調整となる可能性もあるでしょう。その場合、買い方の損切りを誘発させるような下への仕掛けを警戒しておく必要があります



25年12月限SQ日ごろまでの注目イベント

<米国>

10月03日：雇用統計（9月分）

10月07日：貿易収支（8月分）

10月15日：消費者物価指数（9月分）

10月16日：生産者物価指数（9月分）

10月29日：FOMC政策金利

11月04日：貿易収支（9月分）

11月07日：雇用統計（10月分）

11月13日：消費者物価指数（10月分）

11月14日：生産者物価指数（10月分）

12月04日：貿易収支（10月分）

12月19日：12月限SQ日（メジャーSQ）

10月の日銀決定会合で政策金利の引き上げがあるかに注目しています。ドル円を中心に大きく動く可能性があります



<欧州・英国>

10月30日、12月18日：欧州（ECB）政策金利

11月06日、12月18日：英国（BOE）政策金利

<日本>

10月04日：自民党総裁選挙

10月30日：日銀政策金利

10月31日：消費者物価指数（東京10月分）

11月28日：消費者物価指数（東京11月分）

12月10日：12月限SQ日（メジャーSQ）

12月19日：日銀政策金利

[注] 予定は予告なく変更される場合があります。

出所) ブルームバーグ、ロイターなどから筆者作成

11月5日と26日はOPCTVの配信をお休みする予定です

11月22日にオンラインでOP入門セミナーを予定しています

2025年10月

29	30	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31	1	2

2025年11月

3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

2025年12月

1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14

日経225ミニOPのSQ日

日経225ミニ/マイクロ先物と月次/ミニOPのSQ日

日経225ラージ/ミニ/マイクロ先物と月次/ミニOPのSQ日

祝日取引実施日

● **第二金曜日（原則）** は日経225OP期近限月の未決済建玉が清算されるSQ日のため、225OPトレーダーにとって区切りの日です。

● OP売坊公式X「@OP49431790」で気になったニュースについて、つぶやいています。ぜひご覧ください。



10月29日FOMCで市場は追加利下げを確実視

米クリーブランド連銀の9月分CPI予測（前年比、25/09/26現在）

<9月分予測>	CPI	コア CPI
9月 26 日	3.00	2.95
9月 19 日	3.00	2.95
9月 12 日	3.01	2.95
9月 05 日	2.92	2.89

出所) クリーブランド連銀

米国のCPI（消費者物価指数）はFRB（米連邦準備理事会）の金融政策に大きな影響を与えています。その先行きをみるうえで米クリーブランド連銀のCPI予測は、かなりの信頼がおけます

FRB『ドットチャート』
(25年9月更新)

TARGET RATE	2025	2026	2027	2028	LONGER RUN
4.500					
4.380	1				
4.250					
4.130	6				
4.000					
3.880	2	2	2	2	1
3.750					1
3.630	9	6	2	2	1
3.500					1
3.380	2	2	2	2	
3.250					1
3.130	4	7	5	2	
3.000				4	
2.880	1	3	3	4	1
2.750			1	2	
2.630	2	2	3	3	
2.500					
2.380		1			

米国の大手先物取引所CMEが、上場するFFレート先物から逆算した『FEDウォッチ』によると市場は10月29日のFOMC（米連邦公開市場委員会）で政策金利（現在4.00～4.25%）の引き下げを確実視しています

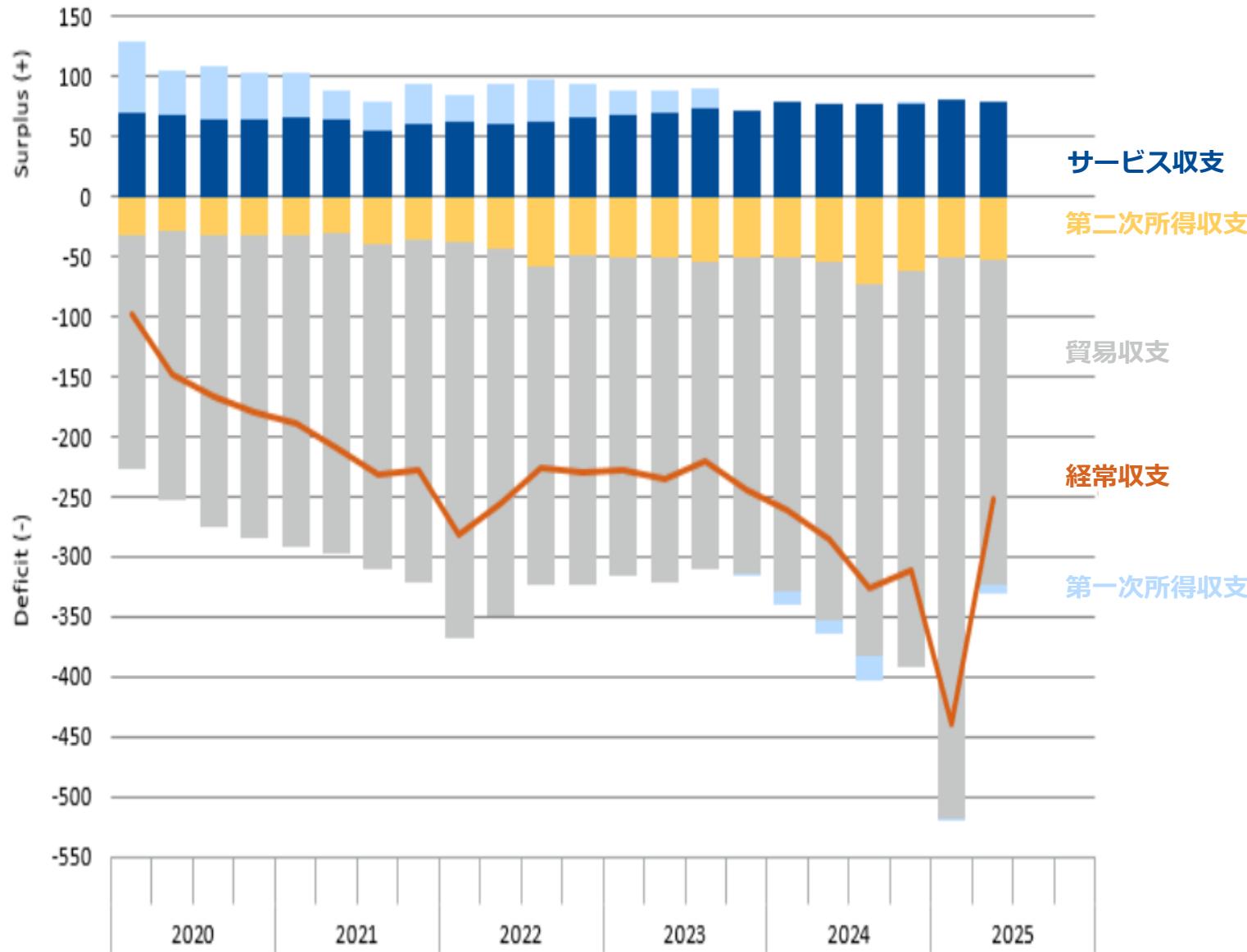
『ドットチャート』はFOMC各参加者の年末における政策金利の見通しを集計したもので、四半期ごとに更新されます

出所) FEDウォッチ



米国の経常収支は改善が続くか

米国の経常収支（四半期、十億ドル、季節調整済み、2020～25年4-6月期）



米国の経常赤字は2025年4-6月期に前期よりも1885億ドル(42.9%)縮小し、2513億ドルとなりました。経常収支は国内居住者と他国居住者とのモノやサービスの貿易と所得フローの合計収支を反映したものです

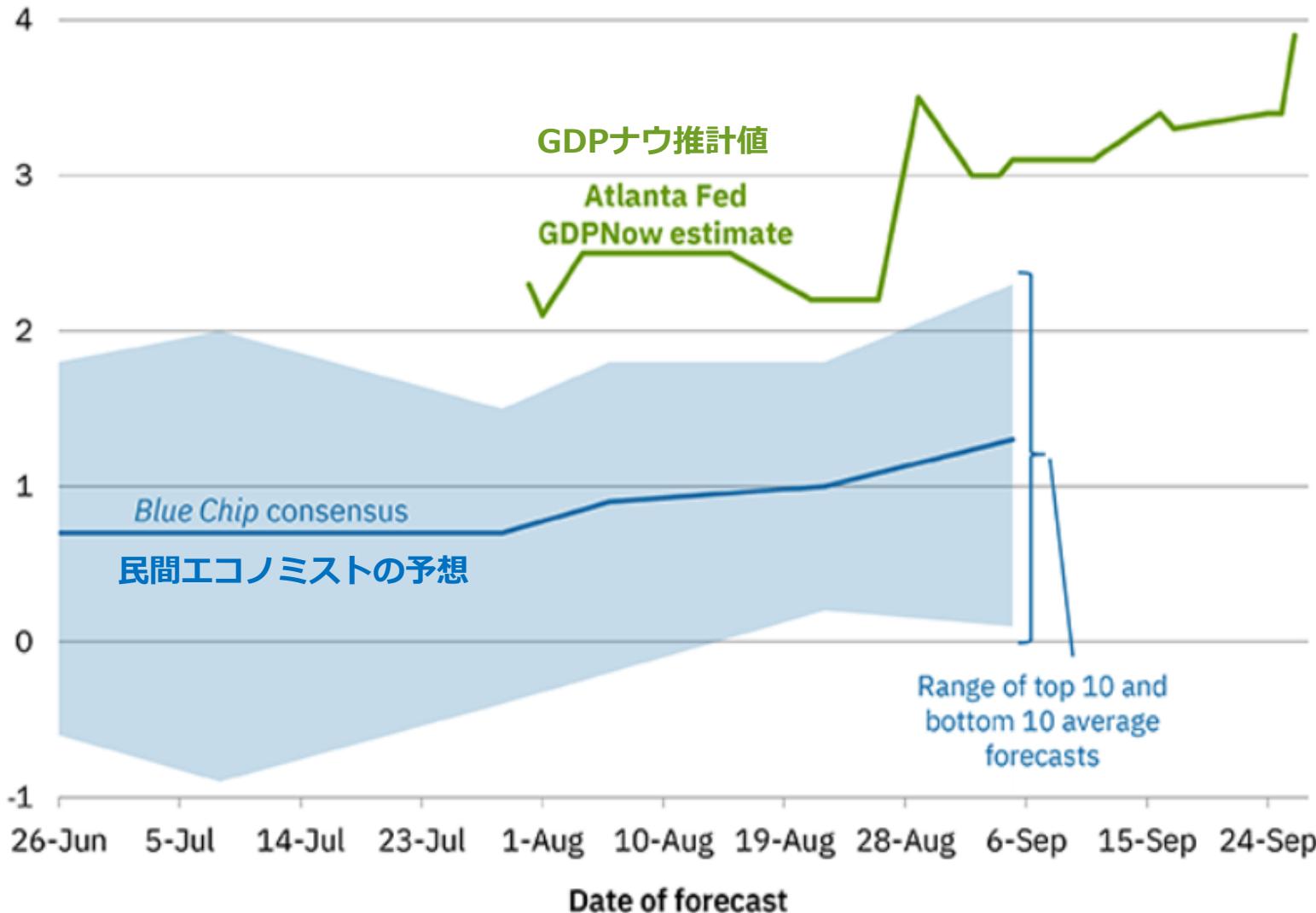
4-6月期の赤字はGDP(国内総生産)の3.3%に当たり、前期の5.9%から減少しています。

この改善が7-9月期にも続くかに注目しています。米ドルの信用にかかるからです



米GDP推計値は高位上昇中

米アトランタ連銀のGDPナウ（四半期比、季節調整済み年率換算、25/09/24現在）



米アトランタ連銀の『GDPナウ』では経済指標が発表されるたびにデータを更新することで当期の実質GDP成長率を予測しています

足元では、とても強い予想となっています。経済が強いとなれば、利下げの必要性が薄れる可能性があり、年内2回の利下げを期待している市場参加者にとっては不都合な状況です

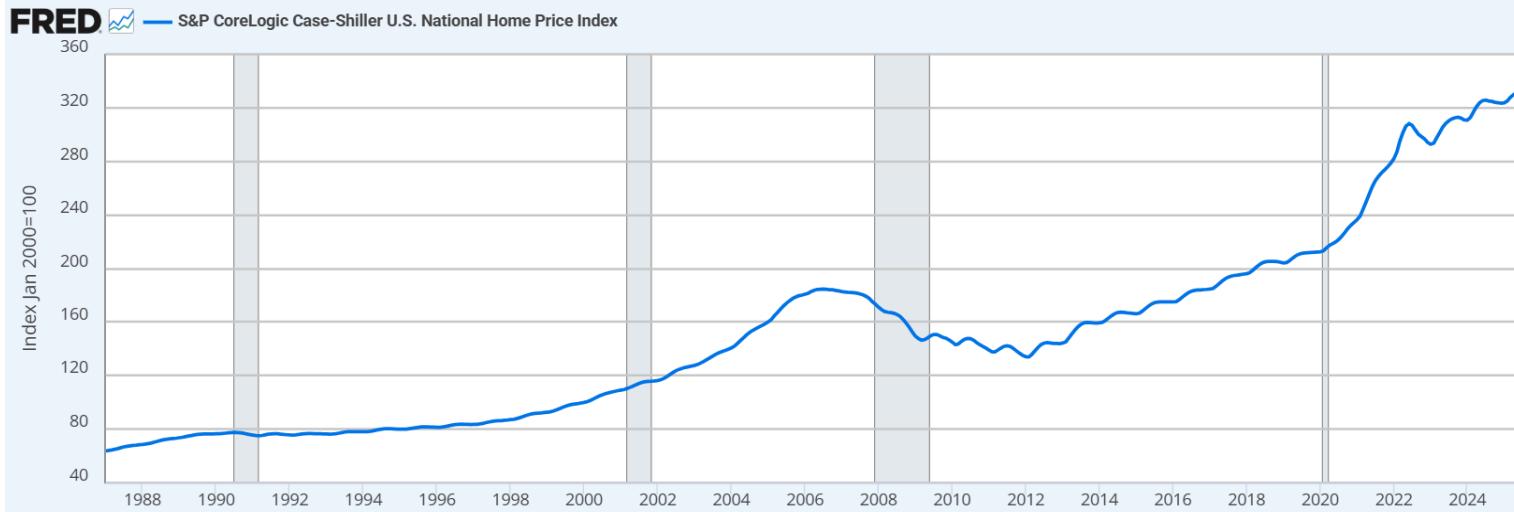
Sources: Blue Chip Economic Indicators and Blue Chip Financial Forecasts

Note: The top (bottom) 10 average forecast is an average of the highest (lowest) 10 forecasts in the Blue Chip survey.



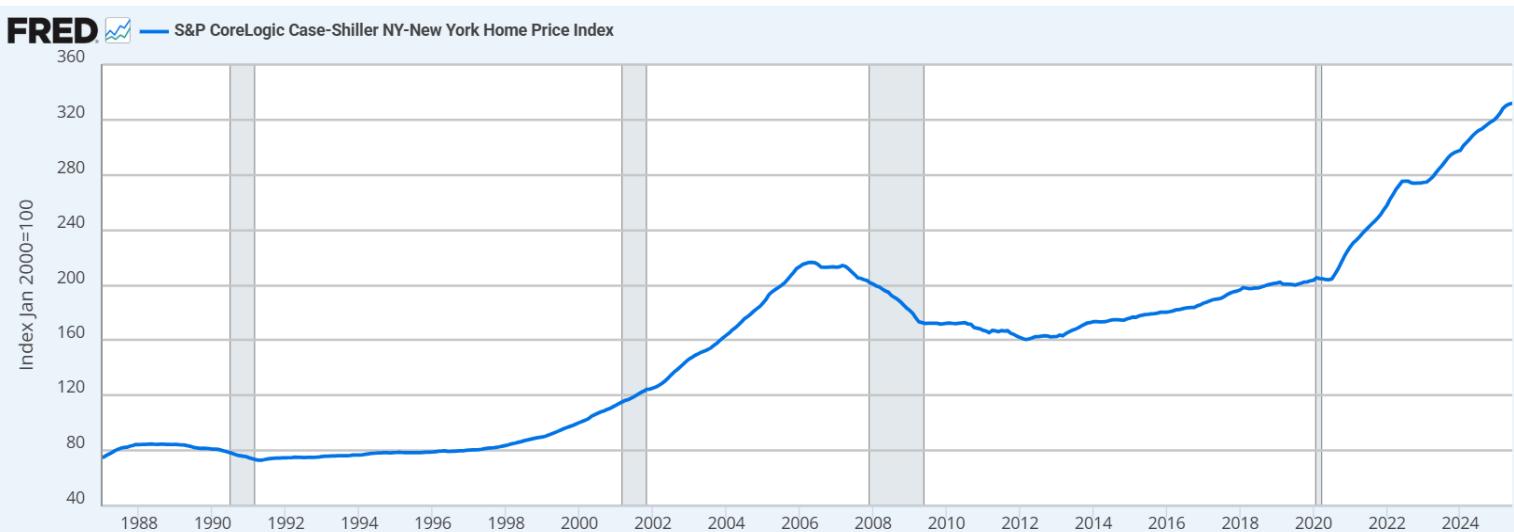
全米に広がる住宅価格の上昇

S&Pコアロジック・ケース・シラー全米住宅価格指数 (1987~2025/06/01)



出所) <https://fred.stlouisfed.org/series/CSUSHPINSA>

S&Pコアロジック・ケース・シラーNY住宅価格指数 (1987~2025/06/01)



出所) <https://fred.stlouisfed.org/series/NYXRSA>

S&Pコアロジック・ケース・シラー全米住宅価格指数は戸建て住宅の再販データから算出されている指標です。米国でも不動産価格が上昇しています。富裕層の資産が上昇しているということです

NYの不動産が高いとの報道がよくあります、主要都市の不動産価格も上昇していることが見て取れます。国内富裕層や投資家のニーズが高いと考えています



売坊先生のYouTube動画を何倍にも楽しめる

解説資料の入手リンクや補足Q&A記事などを配信しています！



- ・ 日米“実質”利回り差とドル円の相関が高いのは、なぜですか？
- ・ 裁定取引の“手口”から、どのようなことがみえてくるのですか？
- ・ 日本銀行に“暗黒の水曜日”が起こり得るのは、なぜですか？
- ・ 米国が陥っている“政策金利のジレンマ”とは、何ですか？
- ・ 個別株を安く買いたいなら“PUT売り”が有効なのは、なぜですか？
- ……など

お気軽にご登録ください！

登録はオプション倶楽部のポータルサイト
<https://www.optionclub.net/>
でメールアドレスを入力するだけ!!

www.optionclub.net

www.optionclub.net



オプション倶楽部

検索

最後までご清聴、誠にありがとうございました。

OP売坊ブログ『実践オプション教室』

<https://www.jissennkop.blog.fc2.com>

OP売坊公式X『@OP49431790』

<https://x.com/OP49431790>

Copyright © 2019-2025 OP売坊 / Pan Rolling Inc.

All rights reserved. This report is for authorized recipients only and not for public distribution.

免責事項

- オプション倶楽部TV（以下「本動画」）で使用した図表・数値などは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、その正確性・信頼性・完全性を保証するものではありません。
- 本動画に掲載された情報・図表・資料は、あくまで金融知識の向上と情報提供を目的としたものです。証券など金融商品の売り買いを提案・勧誘するためのものとして、また証券など金融商品について助言・推奨するものとして、利用・解釈しないでください。
- 本動画は一般向けに編集されています。特定の投資目的・特定の投資環境・特定の投資家を一切考慮していません。事前に専門家の適切な助言を受けるべきですし、最終的な投資判断は、個々人が個々の状況を考慮して、自らの責任で下すようにしてください。
- 本動画に基づく行為の結果、発生した障害・損失などについて講師およびパンローリング社は一切の責任を負いません。
- 本動画に記載されたURLなどは予告なく変更される場合があります。
- 本動画に記載されている会社名・製品名は、それぞれ各社の商標および登録商標です。



水曜22時から YouTube で配信中 !!

3つの視点で日本株・米国株・為替など市場を大きく揺るがしそうな材料を分析します

第1週目



びっくり

政治経済
イベント分析

第2週目



やっぱり

グレイ・リノ
分析

第3週目



くつきり

異常値分析

第4週目



すばり

ワンポイント
解説

※祝日や暦などで配信週が変更される場合があります。

ラジオNIKKEI月曜14時からの
『キラメキの発想』に出演した場合
その週の水曜配信は、お休みします



プレミア公開です。チャット欄へのコメントをお待ちしています。私も参加していることが多いです！